



卒業式宣伝in武道館



3 月 23 日、日本武道館(東京・千代田区)で行われた東洋大学の卒業式に合わせ、東京地評が行った卒業式宣伝に全労連青年部も参加しティッシュと権利手帳を配布しました。

卒業を迎え、晴れやかな顔で武道館を後にする卒業生に向けて、社会人になったら、この権利手帳を使ってくださいと手渡しました

た。権利手帳を受け取りながら「私の会社は残業代出るし…」などと話している卒業生もいました。ブラック企業で働いていた 17 歳男性の相談などを紹介「この働き方はおかしいな？」と

思

っ た

ら 権 利

手帳の後ろに書いてあるチェックシート確認して下さい。一つでも当てはまるものがあれば要注意！労働相談ホットラインへご相談ください」と訴え、社会人になるみなさんへ労働組合を伝える宣伝になりました。



全労連奨学金アンケートに寄せられた青年の声

昨年12月より実施されている奨学金アンケートに寄せられた青年の声を紹介します。

- 「働き始めて、借金からの生活はとても大変でした。月々1万円程度返済しても全然減った気がせず、利息がつくので、ボーナスである程度の額を返済していました。ボーナスを自由に使えず、奨学金を返すのに必死でした。無事に就職できて返せたものの、就職できていなかったらと考えるとつらいなと感じました。これから就職する人たちには、働き始めて学費等の奨学金の借金がないようにしていきたいです」(20代)
- 「高校進学の際は私立を希望したが、学費の問題で行けなかった。また、大学の時も同様に地元の公立大学しか受験することを許されなかった。」(20代)
- 「奨学金の申し込みをした高校生当時、『奨学金＝借金』の認識がなく、親に言われるがまま、適切な借入額かも分からず申し込みをした。莫大な借金を背負っているという自覚を持ったのは社会人になってからだった。幸い滞納なく返済できているが、収入によっては返済がかなり厳しいことになっていたのではないかと思います」と恐ろしい。」(20代女性)
- 「20年かかる返済は重く感じます。大きな出費ではないかもしれませんが、なければ貯金や他に回せるのにといつも思います。」(20代)

などなど様々な青年の声が寄せられています。寄せられた青年の声は全労連青年部 Facebook

(<https://www.facebook.com/%E5%85%A8%E5%8A%B4%E9%80%A3%E9%9D%92%E5%B9%B4%E9%83%A8-174072146305832/>) にて随時掲載しております。

全労連 奨学金アンケート

全労連青年部では、奨学金のアンケートに取り組んでいます。

大学学部生(昼間)の約50%が何らかの奨学金を利用し、約3人に1人が独立行政法人日本学生支援機構(以下、機構)の奨学金を借りるまでになっています。しかし、非正規雇用等の不安定・低賃金労働の拡大により、卒業後に安定した収入を得て奨学金を返済できる環境は大きく崩れています。機構の奨学金の3ヶ月以上の延滞者のうち46%の人が非正規労働者又は職がなく、83.4%が年収300万円以下です。

労働相談でも、「奨学金は借金でしょ、怖くて借りられません」と相談に来た大学生は、新聞奨学生として区内の販売所に住込みブラックな環境で仕事をやめると言ったら違約金請求、それでも学生ローンは手が出ないと訴えました。「借りたことでこんなに苦しい思いをすることは」と訴える20代の女性は、パワハラでうつになり退社、フルタイムの仕事に就けずに週3日のアルバイト収入は月7万円。奨学金の返還猶予期限が迫り、督促状が来たが返せる目途がないと訴えました。

今回改めて、奨学金を返済している人は返済額が月々の収入の何%を占め、どのくらいの負担になっているかを明らかにし、この取り組みに活かしていきたいと思います。是非ご協力をお願いします。

WEB版アンケート URL :

<http://www.smaster.jp/Sheet.aspx?SheetID=115646>

アンケート用紙ダウンロード

1P : http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/html/menu03/index_1.jpg

2P : http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/html/menu03/index_2.jpg

QRコード



奨学金アンケート